

英語教育飛鳥の会 2025/03/22

生徒の作品が激変!? 中間指導の妙手



北区立飛鳥中学校 国語科 風見郁江



国語科で 育てたい力

1・3・5分で
自分の思いや考えを
論理立てて話す力

200～400字で
自分の思いや考えを
論理立てて書く力

国語科の悩み





どうする？

1. 評価や添削に膨大な時間
2. 生徒のモチベーションダウン
3. 作文のクオリティは上がらない



こうする！

1. 生徒自身が気づき、
自分で修正できるようにする

2. 生徒自身が
「やりたい！」と思えるようにする

子どもは 発見と模倣の天才

生徒が気づくための3つの方法



1. 「メンタリング」の活用



よい「モデル」に触れさせる

他者との「比較」

自分の現在地と
「修正点」がわかる

2. 気づきをうながす「発問」



「何か気づくことはない？」

「この作品から
真似たいと思う点を
3つ見つけてペアに伝えよう」

★評価の「観点」を
事前に共有すること

3. 「やりたい！」のタイミング



仲間からの刺激で伸びる

「あと少しでできそう」

本番の1週間前に

「中間評価」

実際の授業の様子（映像）



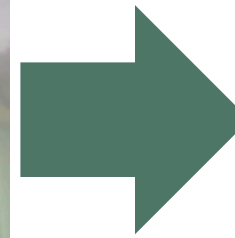
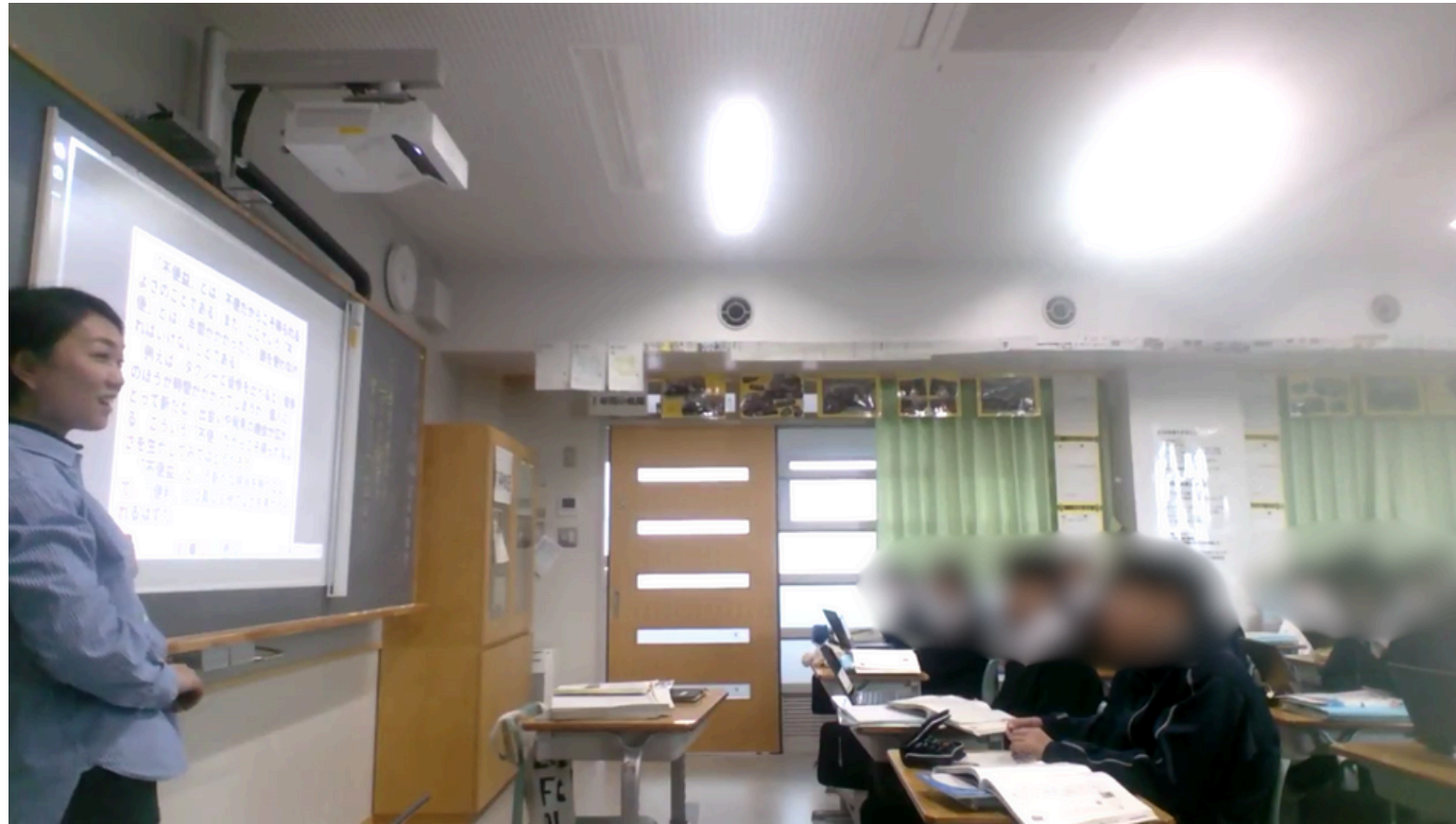
中1 国語（光村図書）

論説文「不便の価値を見つめ直す」（川上浩之）

「要約」（2000字程度）

- まだ読んだことない担任の先生に
文章の内容を伝える要約文を書こう

実際の授業の様子（一部）

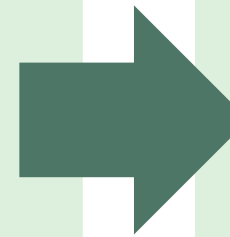


- ① 「モデル」の提示
- ② 「観点」の気づき
- ③ 「こうすればさらによくなる！」
友達にアドバイスするとしたら？

- ① 「観点」を基準に他者評価
- ② 他者との「比較」
- ③ 「修正点」と「方法」の発見
▶ 最終修正タイムの設定

生徒の姿（１）作品のbefore & after

まず、不便とはそもそも何かであるかを定義する。不便は労力がかかったり、頭を使うことと定義づける。それを踏まえて不便益とは何かを定義する。不便益とは不便であるからこそのよさであると定義する。



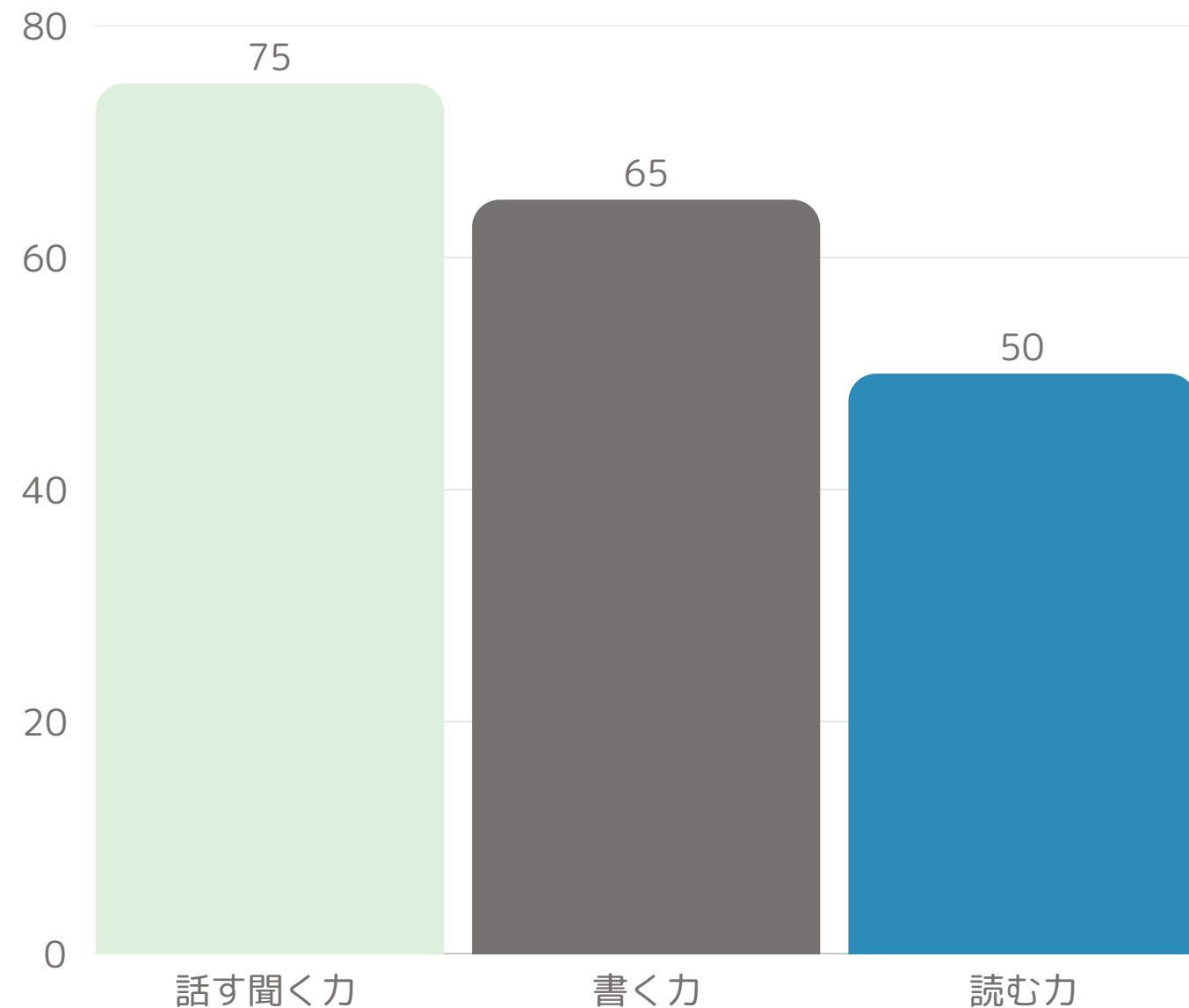
「不便益」とは不便だからこそ得られる良さのことだ。ここでいう「不便」は労力や頭を使うことが必要とすることと定義づける。****

生徒は重複に気づき、文章全体の修正を3回繰り返し、最終版を提出した。

生徒の姿（2）アンケート

●中1国語（2月）

「この一年の国語の授業で、力がついたと思う分野は？（複数回答）」



理由

- ・発表など、それぞれ評価し合うことが多く、学びが深まったから。
- ・1学期で習った様々な文章の課題に評価する課題や吟味する課題が与えられていたから。

協働学習の中の「中間評価」で生徒は伸びる

スピーチ
プレゼン



運動会
予行練習



詩・エッセイ
創作



合唱コン
リハーサル



「見通し」と「余白」の大切さ



最終評価の日から
逆算した「中間評価」

協働学習の中で
「修正点」に気づく

時間の「ゆとり（余白）」

単元計画の中に
「中間評価」を位置づけて
みませんか？

英語教育飛鳥の会
国語科 風見郁江

